

学術情報センターだより

Library and Information Technology Center, Nagoya Women's University

私の人生本棚

原田 妙子 (生活学科長)

「長靴下のピッピ」私の人生で初めて出会った本です。私の人生本棚は、小学生になったころ、両親に世界名作全集を買ってもらったところから始まりました。分厚い本の中の赤毛の女の子ピッピの楽しい冒険が今も印象に残っています。その頃は、毎日時間の空いた時や寝る前に少しずつ読んでいったものでした。そのおかげで、小学生時代は、図書室にも通い、家にはない伝記や推理小説を読んでいたように記憶しています。しかし、中学生や高校生時代には、全くと言っていいくらい本との出会いはなく、夏休みに課題の感想文を書くため本を選び、途中まで読んで後は後書きを読んでいた。私はそのころからしばらく本とは無縁になってしまいました。

次に私がもう一度本と出会ったのは30代で、推理小説やサスペンスでした。生活や仕事が忙しくなっていた時期でしたので、少しの時間があれば本を読み、スリルとサスペンスに胸をドキドキさせながら読むことは、ストレス発散になっていたのかもしれない。

50代半ばが近づいてきたころ、世の中では「永遠の0」が話題となっていました。TVなどで多くの方が感動したと言っているのを聞き、自分で確かめたいと思ったのがきっかけで、小説を読んでみようと思ひ、毎日少しずつ読み進めて現在に至っています。

インターネットが普及した現代では、活字を読むことがほぼなくなっています。パソコンやスマートフォ

ンなどで知りたい情報はすぐ手に入るようになっていきます。しかし、私にとって、紙に印刷された活字を読むことは、なんとなくホッとする時です。文庫本は、手に収まるくらい小さな本であるにもかかわらず、いろいろな世界へ連れて行ってくれます。

本学の図書館には、入口のゲートを入ると真正面に「私の人生本棚」のコーナーがあり、読書ダイアリーが展示されています。2012年から始まった短期大学部と図書館のコラボレーション企画で、「読んだ分だけ人生倍増?!」をキャッチフレーズに、生まれてから20歳までの人生365日×20年で7305日と同じ7305頁を目標に読書をしよう、そして人生に生かせる読み方をしようという目的で毎年取り組まれ、今は全学に広がっています。更に、教員からのおすすめの本や、学生選書コーナーがあり、非常に興味深いコーナーになっています。実は、「私の人生本棚」の企画が始まった初年度は紹介する本がなくて苦労しました。しかし、今では、学生みんなにどの本を紹介しようと考えたり、読み終わった後にこの本のいいところをどうやって紹介しようかなどと考えたりと楽しみが増えています。

学習や研究のための資料の検索で図書館を訪れた時や、大学での学業の隙間に、このコーナーをのぞいて、自分の知らなかった世界に入ってみてはどうでしょう？ ぜひ、自分の人生本棚を作ってみてください。

◎ 目 次 ◎

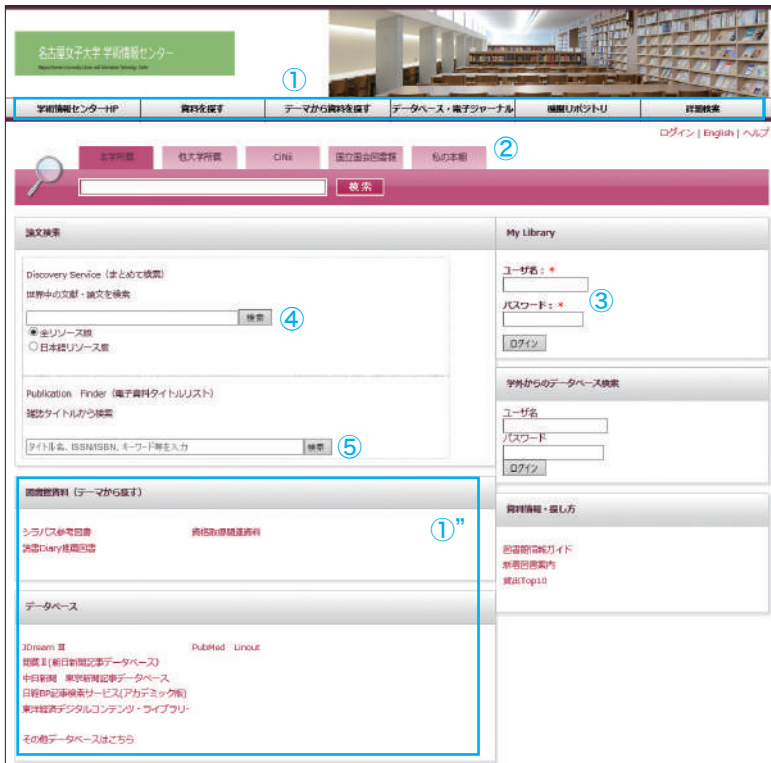
巻頭言 私の人生本棚	1
新しい資料検索システムのお知らせ	2～3
授業と連携した学修支援	4
eポートフォリオ 利用案内	5
図書館貴重資料紹介～服飾コレクションをヤマザキマザック美術館で展示～	6
学生による選書	6
情報セキュリティについて～ランサムウェアの脅威～	7
お知らせ	8

新しい資料検索システムの

2017年6月に図書館の資料検索システムがリニューアルされ、検索画面が一新されました。新たに様々な機能が搭載されましたので、使い方について説明します。資料検索の入口は、旧検索システムと同様に学術情報センタートップ画面の上部メニュー“図書館資料を探す”からです。

[学術情報センター WEB サイト【http://sic.nagoya-wu.ac.jp/】](http://sic.nagoya-wu.ac.jp/) ▶ [図書館資料を探す](#) ▶ [資料検索システムトップ](#)

❖資料検索システムトップ画面



資料検索メニューの集約①

資料検索システムのトップ画面から、図書館の資料を探すためのメニュー全てにアクセスできるようになりました。各メニューのリンク先は、以下の通りです。

◆学術情報センター HP

学術情報センター WEB サイトのトップ画面に戻ります。

◆資料を探す

資料検索システムのトップ画面に戻ります。

◆テーマから資料を探す

シラバス参考図書、資格取得関連資料など、本学資料のカテゴリ検索のページに移動します。使用頻度の高いカテゴリについては資料検索システムのトップ画面にもリンクが貼られています。①”

◆データベース電子ジャーナル

本学契約データベースの一覧に移動します。使用頻度の高いデータベースについては資料検索システムのトップ画面にもリンクが貼られています。①”

◆機関リポジトリ

本学刊行の研究論文集が公開されている、名古屋女子大学機関リポジトリのページに移動します。

◆詳細検索

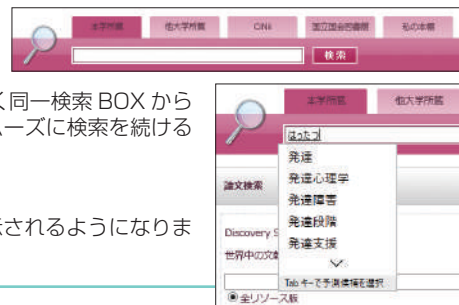
旧蔵書検索の詳細検索画面に移動します。

検索窓口の充実②

検索タブの切り替えで、複数のデータベースの検索ができるようになりました。本学所蔵資料以外に、他大学所蔵資料 (CiNii Books)、国内論文 (CiNii Articles)、国立国会図書館の資料について、キーワードを再入力する必要なく同一検索BOXからタブ切り替えで検索可能です。何度もブラウザを立ち上げる必要がなく、スムーズに検索を続けることが可能となりました。

キーワードサジェスト機能

過去に使用されたキーワードのデータを基に、検索キーワードの候補が表示されるようになりました。



マイライブラリ機能③

検索システムのトップ画面からマイライブラリにログインすることができます。ログインすることで様々な追加機能が利用可能になります。各機能については次ページで説明します。



■ディスカバリサービス 検索結果画面

ディスカバリサービス (Discovery Service) の提供開始④

ディスカバリサービスでは、図書館の所蔵資料だけでなく、契約データベースやオープンアクセスの資料など、図書・論文・電子資料と資料形態を問わずにまとめて検索することができます。“ディスカバリ”とあるように、様々な資料・データの発見を促す新しいタイプの資料検索ツールです。レポートや論文作成、研究調査などの機会に役立ちます。今後、授業内図書館指導などで利用方法を説明します。

お知らせ

電子資料タイトルリスト (Publication Finder) ⑤

本学で利用可能な e-Book、電子ジャーナル、データベースなどの電子資料を検索・閲覧することができます。⑤からのキーワード検索以外にも、分野別検索も可能です。



■分野別検索画面

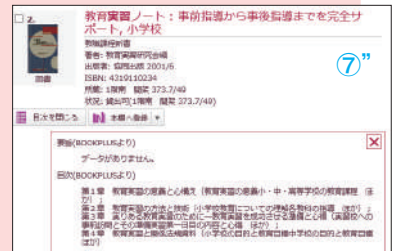
❖「本学所蔵」検索結果一覧画面



検索結果一覧の充実

検索結果一覧に、資料の表紙画像が表示されるようになりました。また、一覧表示のままでも貸出状況が確認できます。検索結果の並び替えも新たに、キーワード関連度順、貸出回数順が追加されました。

検索結果は図書だけではなく、雑誌の巻号や視聴覚資料も検出されます。すべての資料形態がまとめて表示されることで、より多くの資料を発見することができます。左側にあるファセット⑥から、資料種別、件名・キーワード、著者、言語、出版年などで、簡単に絞り込み検索をすることもできます。その他に、「目次を開く」⑦から、本の目次や要旨⑦を見ることもできます。

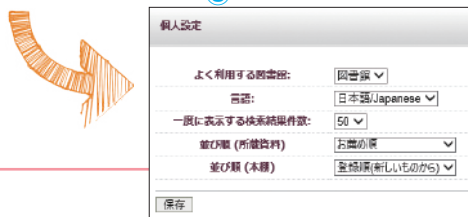


■目次・要旨 表示画面



個人カスタマイズ機能

マイライブラリにログインすることで、資料検索システム画面の個人カスタマイズが可能になりました。検索結果の表示件数や並び順などを設定することができます。ログイン状態になると、画面上部にログインした人の氏名が表示されますので、「個人設定」⑧⑨から設定を変更してください。設定した情報は、以降のログイン時にも常に反映されます。個人情報が表示されるため、利用後は必ずログアウトをして終了してください。



「私の本棚」機能

「私の本棚」とは、資料の検索結果を保存・管理することができる機能です。マイライブラリにログインすると「私の本棚」⑩から機能が使用できます。「本棚へ登録」⑩からの個別登録、または検索結果横のチェックボックスでの一括登録が可能です。記録した資料一覧は検索タブ「私の本棚」⑪から検索可能です。また、資料ごとにタグを付けることで、目的や内容別の資料一覧を簡単に作ることができますし、資料毎に「本棚メモ」⑫からメモを付けることもできます。通常の資料検索結果一覧と同様に左側にあるファセット⑬からの絞り込み検索も可能です。

■「私の本棚」画面



以上のように、新資料検索システムには便利な機能が搭載されています。使いこなすことで、資料の調査から管理までを同一システム内で簡単に利用可能になり、各種の資料検索をスムーズに行うことができます。積極的に活用しましょう。使い方についての質問は図書館カウンターで受付けています。

授業と連携した学修支援


図書館では授業と連携し、図書館資料を活用した学修支援を行っています。ここでは平成28年度に実施した授業と連携した学修支援活動について紹介します。

●家政学部 家政経済学科 3年 ●授業 コンピュータデザイン演習 ●指導教員 青柳 由佳 講師



授業では課題として「図書館利用案内」を作成しました。作成に取り組むにあたり、事前に図書館員による図書館ツアーを実施し、図書館について学びました。特に家政経済学科の学生が利用頻度の低い資料やコーナーについて、場所や機能を確認しました。作成時には、図書館で写真撮影をしたり、実際に現場確認をしたりと、学生それぞれが熱心に取り組んでいました。作成した利用案内は授業内でコンペティションを行い、作成者が工夫した点や見所についてプレゼンテーションを行いました。完成した作品は、授業で学んだPhotoshopやIllustratorの技術を駆使し写真やイラストを取り入れたデザインが多く、女子らしい色使いやアイコンも目を引きます。用紙を立て開きにしたり、用途別にサービス内容を書き分けたりと、図書館員では思いつかない工夫がされています。また、館内図が図書館棟入口を基点として向きを変更されているのも目から鱗の発想で、女子大生目線での工夫が光ります。

現在、作品はすべて図書館1階に展示され、来館学生による人気投票が開催されています。お気に入りの作品の下にシールを貼ってもらい、一番人気の高かった作品は、今後利用案内として活かすことも検討しています。



製作学生コメント

私がこだわったポイントは3つあります。1つ目は「縦型」です。従来の案内図は横型でどちらが1階か2階かが判断しづらいと感じたため上から下へ見ることが出来る縦型にしました。2つ目は「写真」を豊富に入れ図書館内をイメージさせると共により親近感を持たせました。共有スペースの写真を取り込みました。3つ目は「表面」です。シンプルで見やすい情報量を意識して前面に配置した写真や自作の地図はお気に入りのポイントです。



製作学生コメント

図書館には木が多くあったので自然をイメージしてデザインしました。館内図には色分けして番号を付け、本を借りたい人、勉強したい人、展示を見たい人など用途別に分けました。写真は単に貼るだけでは寂しいので、額縁を作り地図の部分は掲示板をイメージしました。



●家政学部 食物栄養科 1～2年 ●授業 初級フランス語 ●指導教員 下村 武 講師

本授業ではフランスの言語や文化、歴史など幅広い資料がシラバス参考図書として指定されています。授業では名女大読書プロジェクトと連携し、読書Diaryに感想を書くことでフランスの文化や歴史への理解を深めました。食物栄養学科が受講対象の授業であったことから、食生活や食の歴史、フランス料理の本など、学科の特色にあった資料が多く選択されました。意外な本との出会いがあったようで、取り組んだ学生からは授業以外でも活用したいとの意見が多くありました。取り組んだ読書Diaryは図書館内に展示し、色鮮やかな本や楽しそうなコメントに広く利用者への資料紹介にもなり、展示資料に多くの貸出がありました。



eポートフォリオ 利用案内

○ eポートフォリオの利用について

前号でも紹介しましたが、本年度からeポートフォリオ機能をLMS (CaLabo) に導入しました。始まって間もないため、ポートフォリオの使い方(アクセス方法や入力)に慣れない方も多いと思います。学修ポートフォリオは、インターネットが使える場所であればどこからでも利用でき、パソコンだけでなくスマートフォンからでも入力できます。学修ポートフォリオを使うことにより、授業毎の予習・復習状況、理解度などを日々の活動履歴として記録することができます。

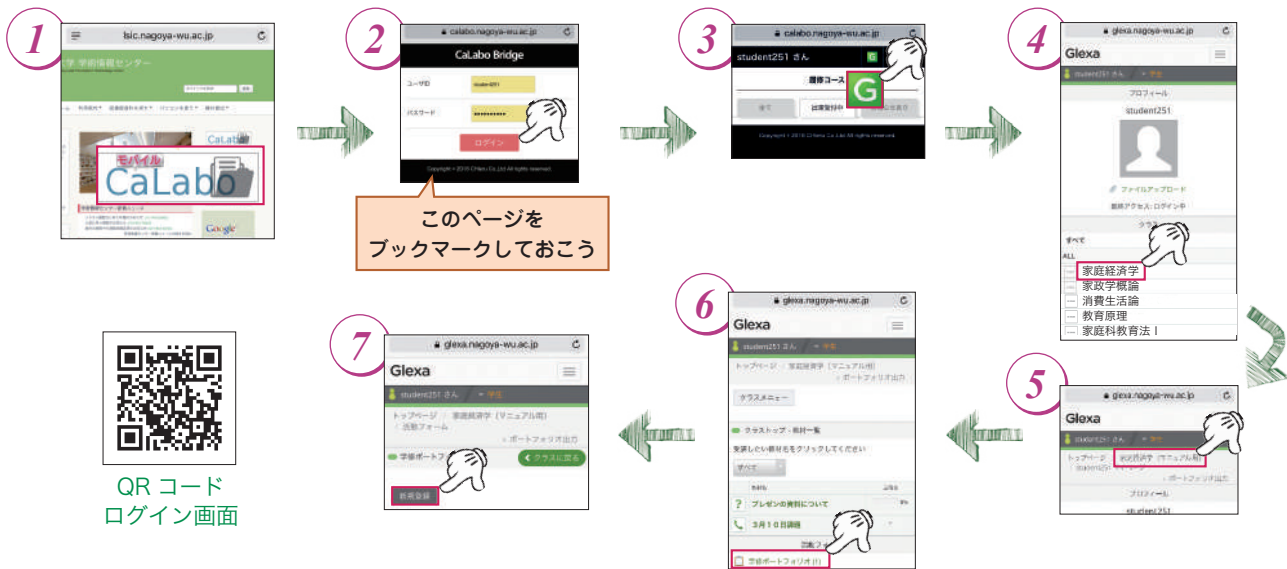
今回は、学内でも利用者の多いiPhoneによる学修ポートフォリオ登録画面までのアクセス方法について、実際の画面を元に紹介します。

※ブラウザにブックマーク登録しておくと、次から簡単にアクセスできるようになります。この機会に登録しておきましょう。

問い合わせ頻度の多かった質問と対処法についても、下部に掲載しています。

〈iPhone (Safari) からのアクセス方法〉

- ①学術情報センター web サイトのバナー「モバイル CaLabo」をタップ→②ユーザ ID・パスワード入力(ログインページをブックマークしておこう)→③G アイコンをタップ→④授業科目名をタップ→⑤上部の授業名をタップ→⑥「学修ポートフォリオ」をタップ→⑦「新規登録」をタップして、学修ポートフォリオを記入



詳細なログイン手順は、学術情報センター web サイト【<http://lsic.nagoya-wu.ac.jp/>】に掲載しています。

メニュー パソコンを使う▶ヘルプ(マニュアルなど)を参照

〈FAQ〉上記のポートフォリオについて、問い合わせが多かった質問を掲載します。

Q1: iPhone (Safari) でログインすると、一部画面が表示されずメニューが選択できない。

A1: Safari にはブラウザの機能で“プライベートモード”^{*}が実装されています。

この機能がオンの状態で、ポートフォリオを利用すると、上手く画面表示がされません。“プライベートモード”は**オフ**(右図)にして利用してください。

^{*}プライベートモードとは、Safari に検索履歴を残さずに Web サイトを閲覧できるようにする機能です。

Q2: ログインに失敗する。ログインまでに時間がかかる。

A2: ログインに失敗する場合は、入力したパスワードが正しいか確認します。

^{*}パスワードは学内のパソコンにログインするときと同じものです。

授業で多くの学生がログインしている場合は、一時的にログインが遅くなる場合があります。時間をずらしてログインしてみましょう。

Safari が黒色・暗いと、“プライベートモード”が有効です。



Safari の“プライベートモード”はオフにしよう!

図書館貴重資料紹介

～服飾コレクションをヤマザキマザック美術館で展示～

2017年、ヤマザキマザック美術館で開催された企画展「よそおいの200年」に本学所蔵の服飾コレクションの資料が出展されました。出展された資料はコレクションのうち、17世紀フランスのファッションプレートや、19世紀アメリカで発刊された女性誌で、17世紀後半から20世紀初頭に至るファッションの変遷を紐解く展示に本学の資料が花を添えました。

特に「Godey's lady's book and magazine」は1830年アメリカフィラデルフィアで創刊された19世紀を代表するアメリカの女性誌で、流行のファッションを紹介するほか、誌や小説など読み物も充実しており1898年までの刊行期間、アメリカでもっとも人気を博した女性誌でした。本学は1849年から1876年の27年分を所蔵しており、国内でも数少ない貴重なコレクションとなっています。今回の展示では本学所蔵の「Godey's lady's book and magazine」全点が展示され、年代とともに変化していくファッションの変遷について資料を通しての紹介がされていました。



この展覧会を機に、家政学部生活環境学科がヤマザキマザック美術館での授業を行いました。また、図書館でも併催企画として、服飾コレクションの館内展示を行い、貴重な資料を広く利用者へ紹介する機会となりました。

学生による選書

学生選書ツアー



学生選書ツアーは学生が図書館に所蔵して欲しい図書を選書する企画で、前期・後期各1回実施しています。選書には参加者それぞれが“選書コンセプト”を設定して臨み、名女大生に読んでもらいたい本を選びます。選書後の交流会は、他学科・他学年の友人を増やす交流の場ともなっています。後日、選書した本のPOPを作成し、館内に展示をしています。

学生選書ツアーの企画・運営には図書館サポーター“ちえりっぶ”が携わっており、当日の参加者受付や交流会の司会、活動報告の作成などで活躍しています。

図書館では学生参加型の図書館運営として、学生による二つの選書を実施しています。学生が図書館運営に参加することで図書館を身近に感じ利用活性化につながるのと共に、はぐくむ図書館として学生支援も行っています。

学科選書



学科選書では各学科・専攻の学習・研究の為に参考資料を教員の指導のもと選書します。学科の学習を深める資料の充実を図ることを目的としており、整備後は図書館1階北側の学科選書コーナーに別置されます。シラバス参考図書と合わせて課題、レポート作成に多く活用されています。

情報セキュリティについて ～ランサムウェアの脅威～

○ランサムウェア WannaCry

2017年5月12日、CNNや英ガーディアン紙は、イギリスのある病院のコンピューターがランサムウェアに感染したため、病院のコンピューターシステムが停止し、患者を受け入れられなくなった、と一斉に報じました。このランサムウェアは、「WannaCry」と名付けられ、全世界にその被害と報道が広がっていきます（「WannaCrypt」という報道もありましたが同じものことです）。

○日本国内の動き

日本でも以下の様な対応が取られました。

2017年5月14日

- 情報処理推進機構（以下 IPA）が記者会見を開き、WannaCry に対し、週明けの就業前に対応をとるよう注意喚起。

2017年5月15日

- 日本政府が首相官邸危機管理センターに情報連絡室を設置。
- 文部科学省 高等教育局 私学部 私学行政課から各私立大学情報セキュリティ担当者宛てに以下の標題のメール送信
「【注意喚起】国内外における大規模なランサムウェア感染の対策について」

○ランサムウェアとは？

ランサムウェアは、コンピューターウイルスの一種です。コンピューターに感染するとまずファイルを勝手に暗号化して利用できなくします。元に戻すためには暗号を解除する鍵（実体はファイル）が必要です。この鍵と引き替えに金銭を要求するメッセージを画面に表示します。少し前まではメッセージは英語か片言の日本語でしたが、現在は流暢な日本語メッセージが表示されるようです。このようにコンピューター上の大事なファイルを人質に取って身代金を要求することからランサムウェアと呼ばれています。辞書で調べてみると身代金のことを英語で ransom というようです。身代金を払うことは、犯人グループの資金を増やし、さらなる犯罪を招くことから支払うべきではありませんが、海外の例などをみると実際に支払ってしまっている事があるようです。

○どうしてこんなにすごいのか？

2017年5月に世界各地に広がった大規模なサイバ

ー攻撃について、アメリカ、ホワイトハウスの高官は、被害はおよそ150か国で30万件以上に上るとしています。また、ウィンドウズの開発元であるマイクロソフト社は今回のサイバー攻撃はアメリカの情報機関の技術が盗まれ悪用されたものと断定したとの報道がありました。

「Software Design 2017年7月18日号」の連載記事「セキュリティ実践の基本定石」によると、この情報機関とはNSA（アメリカ国家安全保障局）とのことです。NSAは、アメリカ国防総省の諜報機関で、コンピューターもNSAの活動範囲になっているそうです。NSAで開発されたサイバー攻撃用のモジュールが、どういうわけか外部に流出して犯人グループがWannaCryの部品に使用したと専門家はみています。NSAの年間予算は約108億ドル（約1兆800億円）。この一部がサイバー兵器の開発予算に充てられています。昔の様にハッカー少年が腕試しにコンピューターウイルスを作ってみたというレベルとは完全に違うということを認識しなければならない、と記事は強調しています。

○我々はどうすればいいか？

IPAでは、以下のように呼びかけています。

1. 心当たりのないメールに添付されているファイルの開封や不審なWebサイトへのアクセスをしない。
2. 脆弱性の解消——Windows Update 修正プログラムの適用。
3. ウイルス定義データベースを常にアップデートする。

5月のWannaCry騒動も3月のWindows Updateを確実に実施していれば何の問題も起きなかったことが分かっています。できることを確実に実施していきましょう。

参考文献

- ・「セキュリティ実践の基本定石【第45回】WannaCryの問題の本質」、『Software Design』2017年7月18日号、pp. 144-147、技術評論社
- ・「世界中で感染が拡大中のランサムウェアに悪用されているMicrosoft製品の脆弱性対策について」、<<https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20170514-ransomware.html>> 2017年7月31日アクセス

お知らせ

カンパセーション・サロンのご案内

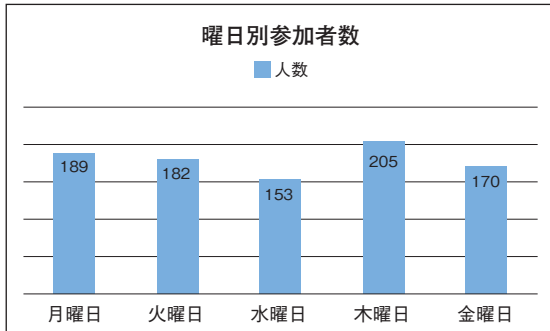
カンパセーション・サロンは、様々な文化的背景を持つカンパセーション・パートナーと英語で話ができるサロンです。海外研修やホームステイの際にも、臆せずコミュニケーションがとれる、会話力、国際力を身に付ける練習ともなります。大いに活用して下さい。



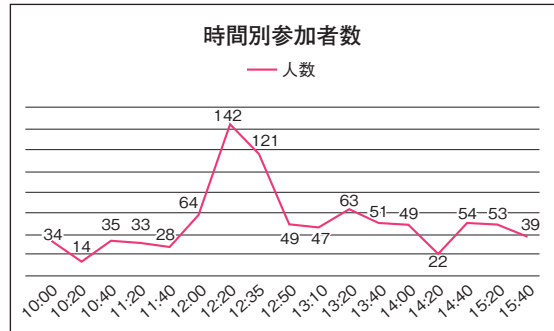
誰でも自由に参加できます。

- ・開催予定日時：授業開講期間
月～金曜日 10：00～16：00
- ・会場：図書館 1F グループ閲覧室 1
※ラーニングcommonsから引越しました。
- 1回 15分～20分。
- 参加は一人でもみんなと一緒にでもかまいません。
- 利用者がいない時間は予約がなくても利用できます。

平成 29 年度前期の利用状況 利用状況を参考に、積極的に参加しましょう。



※水・金曜日が比較的空いています。



※お昼休みに利用が集中しています。

絵本おはなし会開催予定

今年度、毎月1回開催している絵本おはなし会では、参加学生が事前にプログラムを検討し工夫を凝らしています。全体での大型絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊びの他、1対1で子どもたちの好きな絵本を読む対面読みの時間は名女大おはなし会の代名詞にもなっています。

毎回楽しみに参加してくれる子どもたちのために、学生の叡智を集め、回を重ねる度にパワーアップしています。

ぜひ、ご参加ください！

■開催予定

- 平成 29 年 9 月 30 日(土)
- 10 月 28 日(土)
- 11 月 18 日(土)
- 12 月 16 日(土)

■時間 10：00～11：00

■場所 名古屋女子大学 図書館棟 1F

■プログラム 絵本の読み聞かせ、手あそびなど

※ボランティア参加学生も随時募集しています。



読書感想文コンクール作品募集中

平成 29 年度読書感想文コンクールでは、学生の皆さんに読んでもらいたい課題図書「名女大生に贈る名著」9 作品に新たに 5 作品を加え 14 作品で募集をしています。

社会人として必要な文章力や表現力を醸成するための良い機会です。奮って応募ください。

◆課題図書リスト及び詳細は学内ポスター及び学術情報センター Web サイトをご覧ください。

※応募締め切り：10 月 31 日(火)



QR コード
読書感想文
コンクール画面



コンクール優秀作品は、文集にまとめられ表彰と副賞が授与されます。